



TOMOMI SONOBE

マネージャーは、練習でも選手が思い切りプレーできるように常に先へ先へと動く。試合中も背中で熱気を感じながら自分の仕事をこなしていく。フィールドには立たないが選手とともに「日本一」を目指すチームの一員として1年間戦い抜く。



海外法務という仕事柄、業務の半分以上が英語でのやりとりで同じ部署の弁護士とも和やかに英語で打ち合わせをする。しかし、本格的に英語を学んだのは入社してからだと笑う。「OJTで少し話せるようになりました」苦労も大きいと思うがそれを感じさせない明るい笑顔が魅力的だ。

Profile



園部 友美（マネージャー）
出身大学 関西学院大学 部署名 法務部 海外法務グループ
オフの過ごし方：シーズン中はアメフト色の生活ですが、時間が空いたら趣味の「レエや歌のレッスンに行きたいですね。
好きな男性のタイプ：一緒にお肉をてくれる人（笑）
意外な一面：中学・高校とコーラス部でした。普段でも鼻歌…というより本気で歌っていることが多いです。（笑）
生まれ変わったら何になりたい？：ズバリ！アメフト選手です！！
尊敬する人 or 選手：母校アメフトチームの恩師でストレングスコーチの油谷浩之さんです。元インパルスのストレングストレーナーで、私もインパルスに出会わせてもらいました。
厳しいけれど愛情があり、的確にアドバイスをして下さる方です。
アピールポイント：「情熱と積極性」。家事も得意です。
好きな言葉、座右の銘：“奉仕のための練達（Mastery for service）”
地元のオススメのお店：梅田の「アウトパック（ステーキハウス）」は月に3回くらいは行きます。特にシーズン中は健康維持とストレス発散にステーキを食べています（笑）。

INFORMATION

マネージャー募集中

選手と一緒に日本一を目指しませんか？ 経験者はもちろん、アメフト初心者でも大歓迎。必要なのは“インパルスに対する熱い思い”だけ！

活動日△練習：毎週月・水・土曜日（祝日など変更の可能性あり）

△試合：公式戦・その他練習試合など（春・秋）

△仕事内容：練習サポート・試合マネジメント・スカウティング・チーム運営など
その他詳細や面談日などお気軽にお問い合わせください。

impulse@panasonic-denko.co.jp

IMPULSE 通信



パナソニック電工のスポーツチーム チームを支える大黒柱 ～選手とともに日本一を目指して熱くなれ！！～

社会人になつて純粋に打ち込めて
いかが熱くなれるものもつりますか？

アメリカンフットボールの『パナソニックイ

ンパルス』はパナソニック電工（株）のスボ

ツチーム。選手全員が社員だが特別扱いはなく、

一般社員と同じ条件で勤務しながら本社敷地内

にある練習場で技を磨く“文武両道”を実践

しているチームだ。

インパルスには選手だけではなく『日本

一』という同じ思いを抱いてフィールドの外

で日々奮闘するマネージャーたちがいる。現在

6名のマネージャーのうち社員は2名。実業団

チームなので社員でないと入れないとと思われる

ちだが実は一般の人が多いのだという。

「一緒に

戦うマネージャーを募集しています。シーズン

オフの今ならゆっくりお会いして練習を見学し

ていただけます」そう話すのは社員マネージャー

の一人、園部友美さんだ。園部さんは法務部海

外法務グループに所属し、国際契約や事業再編、

M&Aなど海外事業に関わる法務サポートを

行っている。現在アジアを担当していて月に一

度は海外出張という多忙な毎日を送っているが、選手と同様練習日には参加できるよう調整して活動しているという。

『誰かの成功を自分のことのように喜ぶことができる人』求む！

ドリンクや道具の準備、ビデオ撮影などの現場業務だけがマネージャーの仕事ではないといふ。「私は社内にいるので少し踏み込んで会社との交渉を担当しています」チームが動くには会社との調整が欠かせない。日中に会社の中で折衝や打ち合わせをするには社員でないと難しいので担当しているが、社外マネージャーもアイデアをどんどん出してやりたいことをしてもらえたらしい。自分の置かれた立場で日本一になれることはそうあることではない。

「マネージャーはチームの大黒柱。私たちがしているのは選手にはできないこと。自分たちの準備したものですチームの仲間が活躍する。この喜びや組織の一体感は快感。一緒に日本一を目指しましょ。『やる気・情熱・体力』があればアメフトに詳しくなくともウエルカムです♡」

選手だけではチームは成り立たない
『チームをマネジメントする』やりがい

「私たちが具体的に何をしているのかはたぶん選手も知らないと思います」それでいいと園部さんは言い切る。何ががうまく進まなかつたり足りなかつたりしたときに気づく。ベストな環境を作るために動くのが仕事。どうすれば良いか常に先へ進み全体を見る。涉外費用管理、試合準備、広報活動、スクウェティングと様々な仕事をこなすチームマネジメント、言わばもうひとつ仕事をしているようなものだという。「だからお休みはない。でも社会人になつて立場や仕事抜きで熱くなれるものってないじゃないですか」園部さんは勝ったときの喜びに代えられるものはないと言ふ。1年目「チームを動かすマネジメントが分かればおもしろくなる」先輩マネージャーに言われた。今やつとその「マネジメントの楽しさ」が分かり始めてきたという。自分が必要とされる循環が回り始めたのだ。日本一を目指すインパルス。一緒に頂点に立つ喜びを経験してみませんか？